

四谷地区協議会だより



—ぼいす— Voice

No.

12

第12号

平成27年4月発行

特集 第6期四谷地区協議会スタートに向けて

新宿二丁目界限



10

キリシタン灯籠 とうろう



12

新宿二丁目情景

坂町界限



15

モダンな様式 太宗寺本堂



16



17

坂町から四谷坂町へ(町名変更)

足袋の老舗「むさしや」

15

樹簀稲荷神社全景

16

第8回
お宝さがし目録



詳しくは8頁上段をご覧ください

こんにちは町会長さん！...



皆様のまちの町会長さんに、わが町の魅力を語っていただきます。

今回は新宿二丁目と坂町です。

(ご紹介する町会は町会連合会で随時決定されています)

Q1 地域の名物・名所、ご自慢をお教えください！

新宿二丁目町会

当町会の中心に、太宗寺があります。内藤家の菩提寺です。本堂のユニークな形と境内の六地藏開慶堂三日月不動像などを見て、お楽しみください。

坂町町会

江戸時代は御先祖組の組屋敷があったことでも知られている古い町です。池波正太郎の「鬼平犯科帳」にも、長谷川平蔵の部下たちが暮らす町として登場します。

Q2 とっておきのお話や人気行事、面白ごぼれ話を教えてください！

新宿二丁目町会

太宗寺では、7月に町会主催の盆踊り大会があります。生演奏、子供のコンテストなど、町会の目玉行事の一つです。

坂町町会

400年の歴史を誇る「榊^{さかき}稲荷神社」があります。現在は住民が大切に管理し、正五九(正月、五月、九月の折衝)などの行事も受け継がれています。

Q3 その他貴町会のPRなどご自由にご記入ください！

新宿二丁目町会

名物、名所に書ききれないのでこちらに書きますが、太宗寺内の塩かけ地藏やキリシタン灯籠を、境内で搜してみたいかがですか？

坂町町会

平成27年7月に住居表示が実施され、現在の「坂町」から「四谷坂町」に町名が変わります。「四谷(四ッ谷)坂町」は江戸から明治にかけて使われていた町名で、歴史を大切にしながら心機一転、再出発です。



塩かけ地藏 (太宗寺)



地域を守るお稲荷さん

新しく“地域の課題を考える!”をテーマに
平成 27 年 4 月より
第 6 期四谷地区協議会がスタートします

第 6 期四谷地区協議会

区民の区政参画の場

地域課題解決の場

町会・自治会

から推薦いただいた方

公 募

ご自身で
応募いただいた方

地区協議会の 構成メンバー

各関係団体

- ・地域センター運営委員会 ・四谷ひろば ・商店会
- ・民生児童委員協議会 ・青少年育成委員会
- 等の地域団体から推薦いただいた方

●申込み・問い合わせ先

四谷地区協議会事務局 (四谷特別出張所内)

新宿区内藤町 87 番地

TEL : 3354-6171 FAX : 3350-9403

●活動の内容 (下記の分科会、広報担当があります)

- ①まちづくりを考える (地域課題・歴史・文化・自治・観光まちづくり)
- ②健康で安心なコミュニティづくりを考える (子ども・高齢者・健康)
- ③生活環境・まち美化を考える (みどり・環境・リサイクル)
- ④広報担当 (協議会広報誌「声」の発行)

●応募できる方及び構成メンバー

四谷地区 (四谷特別出張所管内) に在住・在学・在勤、または四谷地区で活動している方。
公募 30 名程度 (任期 2 年。無報酬) ※応募多数の場合は調整させていただきます。

●平成 27 年度第 1 回全体会予定

4 月 22 日 (水) 午後 6 時 30 分から
四谷地域センター 11 階 集会室 2・3

●その他

今までの活動や会則等については四谷特別出張所のホームページ、および協議会広報誌「声」、新宿区キラミラネットをご覧ください。
なお、四谷特別出張所にパンフレットを用意してあります。

地区協議会って…？

平成17年に設立された四谷地区協議会も、平成27年4月より第6期がスタートします。地区協って何？どんな組織なの？どうしたら参加できるの？等々、そんな話を耳にします。そこで、今回は地区協議会の組織について四谷地区協議会事務局が答えました。

声

Q1

地区協議会とは？

A 新宿区の各特別出張所の地区ごとに「区民の区政参画の場」「地域課題解決の場」として平成17年10～11月頃に地区協議会が設置されました。区民との協働をさらに進め、住民自治の充実を図るため、区も活動が充実する様支援しています。

Q2

地区協議会の活動とは？

A ・町会など各種地域団体と情報の共有、ネットワークを構築します。
・多様で開かれた協議会として、地区内の意見が集約される場とします。
・地域の日常的課題の解決策を検討します。
・基本計画など、区の計画に関して、区

との意見交換や提案をします。
・各地域の将来の姿や地域の課題を検討し、区へ提言します。

Q3

連携団体として、地域のどのような団体が参加していますか？

A ・四谷地区町会連合会
・四谷清掃協力会
・四谷地域センター運営委員会
・新宿区保護司会
・四谷ひろば運営協議会
・青少年活動推進委員会
・四谷地区青少年育成委員会
・四谷地区民生児童委員協議会
・四谷地区商店会連合会
・PTA（八校会）
・四谷消防団
・スクールコーディネーター
・新宿区高齢者クラブ連合会
・スポーツ交流推進委員会（体育指導員）等

Q4

どのような方法で参加できますか？

A 上項の団体から推薦される「推薦委員」と公募委員とがあります。「公募委員」は、四谷在住、在勤、在学、そして四谷地区で活動をしている方が、四谷地区協議会に応募書類を提出していただくことで、委員としてごなたでも参加することが出来ます。四谷地域の為に活動したい、という熱意のある方を広く募集しています。

Q5

どのような分科会がありますか？

A 第6期四谷地区協議会の各分科会活動内容は下表の通りです。

これまでの主な活動

- ・四谷お宝さがし
- ・四谷まち歩き
- ・健康体操講座の運営
- ・花いっぱい運動
- ・ごみゼロデーの推進
- ・内藤とうがらしの普及
- ・四谷の歴史を学ぶ勉強会
- ・協議会広報誌「声」の発行
- ・防災・地域安全の推進

第1分科会	第2分科会	第3分科会	広報
「まちづくりを考える」 地域課題・歴史・文化・自治・観光まちづくり・防災・地域安全 ●四谷お宝さがし実行委員会 ●観光まちづくり実行委員会	「健康で安心なコミュニティづくりを考える」 子ども・高齢者・健康	「生活環境・まち美化を考える」 みどり・環境・リサイクル ●地域の窓口実行委員会	協議会広報誌「声」（ボイス）の発行

※地区協議会委員は、第1～第3分科会、広報のいずれかひとつを選んで所属します。
 ※分科会内の各実行委員会には、地区協議会委員でなくても参加出来ます。
 ※地区協議会委員は、分科会（広報）の所属先に関わらず、どの実行委員会にも参加出来ます。
 ※実行委員募集は別途行います。

※今回は、各分科会で活動している委員の方たちの声を聞きました。

第1分科会

まちづくりを考える

地域課題・歴史・
文化・自治・
観光まちづくり

「まちづくり」をテーマに、地域の課題をみんなで解決しようというのが第1分科会です。よりよいまちづくりのためのテーマを毎年決め、四谷の歴史や文化を再確認したうえで、区などに意見を提案しています。これまで玉川上水やコミュニティバスをテーマにとりあげたほか、この1年は、自転車問題や道路のあり方をテーマに、自転車置き場や危険な道路をみんなで見て回りながら、よりよい四谷のまちづくりを探ってきました。

地域の人からお宝を募り、年一度発表する「四谷お宝さがし」や、四谷をよく知る講師を招いて四谷について学



四谷を識る勉強会風景

ぶ「四谷を識る勉強会」の開催、四谷まち歩きを実施する「観光まちづくり」も、第1分科会から生まれた活動です。私も今年はお宝さがし実行委員として、地域に眠るお宝の発掘や、老舗の取材などの活動をおこないました。

まちの未来を考えるためには、過去や現在を知ることが不可欠です。四谷で生まれ育った私ですが、まだまだ知らない四谷の顔があることに驚きました。四谷のまちを再発見し、よりよい未来につなげる提案ができることが、この分科会の何よりのやりがいだと思います。

(第1分科会 森久子)



道路の検証 危険箇所のチェック



発表会に集まったお宝の数々



四谷まち歩き



民生・児童委員さんと一緒に豚汁づくり！
(四子連イベントにて)

※四子連：四谷地区乳幼児機関関係者連絡会



園児を招いての「なんげんトープパネル展」

この分科会は、「健康で安心なコミュニティづくりを考える」をテーマに、高齢者と子育て支援に力を入れて様々な地域団体と協働しながら活動をしています。昨年度も、スポーツ交流推進委員会協力のもと、現在8ヶ所あるシニア健康体操教室の活動を主に、四谷ひろばで行われる9月の四子連のイベントで民生児童委員の皆さんと一緒に豚汁づくりのお手伝いをしたり、11月の子ども見守り隊あいさつ運動、四谷の小中学校PTA関係の方達と四谷スポーツ文化フェスタへの参加、また多世代交流活動の場づくり「なんげんトープ」へのサポートなど、多くの他団体と連携することにより「四谷の底力」を育てていく活動を



イスを使ったストレッチ

して参りました。

そのような中で印象に残った活動は、8ヶ所ある体操教室ですが、4名の講師の独特な指導内容で、それぞれ特徴のある教室になっています。皆様も、是非一度参加してみたいかがでしょうか…？

やりがいという意味では、私は四谷地区協議会へは2期目から参加させて頂き、いろいろな活動に交わらせて頂く中で、地域の人達を身近に感じながら、自分自身の向上のためにも良い経験をさせていただいています。同時に、新宿いきいき体操のサポーターとしても活動しています。

(第2分科会 増田恵美子)



「四谷ひろば」の健康体操教室

第2分科会

健康で安心なコミュニティ
づくりを考える

子ども・高齢者・健康



あいさつ運動の様子

春と秋の
ごみゼロ運動
まちをきれいに!!

内藤とうがらし
キャラクター
「ないトン一家」



第3分科会

生活環境・
まち美化を考える

みどり・環境・
リサイクル

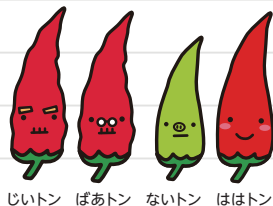
私達、第3分科会は、みどり・環境・リサイクルを地域住民の視点から考え活動しています。

この1年間の活動は、「春と秋のごみゼロ運動」「年二回の花いっぱい運動」「5月の内藤とうがらし苗の配布」、また「その時々地域の課題をとりあげ、行政関係の方をお招きしての勉強会」を実施しました。

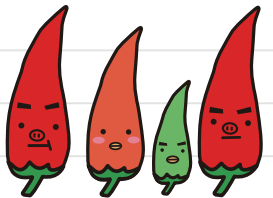
これらの活動を通して印象に残ったことは、花いっぱい運動で従来の四谷小学校、四谷第六小学校に新しく花園小学校が加わり、四谷地域全体の取り組みになったことです。

第3分科会の委員として、子どもたちや地域の人たちの声を聞き、顔を見ながら交わりをもつことが出来、一緒に何かをしたり、作り上げたりすることで、「協働」を実感が出来ることです。まさに、やって良かった、やりがいのあるボランティア活動だと思います。

(第3分科会 田谷節子)



じいトン ばあトン ないトン ははトン



ちちトン よめトン ちびトン にいトン

© Yumi * Yone



内藤とうがらし苗の頒布



内藤とうがらしの赤いタペストリー



花いっぱい みんなで植え替え





高齢者向け救急救命講座



「防災・地域安全」は、分科会に属さない「課題別プロジェクト」と呼ばれる活動として誕生しました。地域の防災や安全意識を高めるため、地区協議会でできることを探りながら活動を進めてきました。たとえば過去には「幼児対象救急救命講座」や「高齢者向け救急救命講座」救急救命と転倒予防を学ぶ会」など、対象者を絞った救急救命講座を開催しました。また平成26年度は11月に、新宿区の危機管理課長を招き、「新宿区の防災対策」と題した勉強会を開催。防災のテーマ「自助、共助、公助」に沿って、地震のメカニズムから防災の基本心得、家具転倒防止、大地震の際の通電火災についての知識などを学びました。なお「防災・地域安全」は平成27年度より、「課題別プロジェクト」から第1分科会の中に組織替えされる予定です。

（防災・課題別プロジェクトリーダー 大塚光男）

四谷地区協議会の 広報



平成21年創刊号から
11号まで



平成21年第3期四谷地区協議会スタート時に、あなたの声^{ほいす}が四谷を変える^{ほいす}をキャッチフレーズにVoiceとして産声をあげたのがこの広報誌です。地域の人たちの声と四谷地区協議会の声のキャッチボールが出来るように、年2回3月と11月を目途に発行しています。

広報誌は、「ものづくり」です。活字にすることで長く残っていきます。ですから1ページずつ心をこめて丁寧に編集しております。

聞く、考える、書く、形として残す、手作り感を大切に、大変やりがいのある活動です。行政、町会、諸団体、地域の方々と連携を持ちながら、今後も皆様の声の代弁者として、また、各分科会、実行委員会など多くの人たちにご協力頂きながら、少しでも「読んで」いただける広報誌づくりに努めていけたら、と思っています。

（編集委員 小西恵子）

四谷のお宝さがし

～秘話・こぼれ話をご紹介～



第8回お宝発表会

平成27年2月28日四谷地域センターで、第8回目となる「四谷お宝さがし発表会」が開かれました。今年は町のために長年にわたって活動してきた南元町町会長が「町のお宝」として町会員から推薦されるなど、ユニークなお宝が揃いました。また応募されたお宝のひとつ、「四谷」が歌詞に登場する東京の民謡「鮎担ぎ歌」



「9mm半のフィルムと映写機」(新宿歴史博物館賞)。発表会では映像も上映されました

は「新宿歴史博物館賞」

に選出され、実行委員によるライブ歌唱で紹介されて会場をわかせました。実行委員が独自にお宝を探索する「実行委員会企画」では、「四谷の老舗」をテーマに、歴史ある「和」の商店を紹介。320年の歴史を誇る三栄町の「水野畳店」など、その存在自体が地域のお宝である老舗の成り立ちと、そこで代々大切にされてきたお宝が紹介されました。



『母が嫁入の際持参した人形』(鑑定士賞)

今年度もお宝を募集します。
ご応募お待ちしております。



四谷の様々な魅力あるスポットを地元ガイドが四谷まち歩きでご案内します。平成26年度も、年間6回、様々なテーマでまち歩きを開催しています。また、たい焼きわかばや花園饅頭、追分団子などの銘菓をまち歩き後に実費で味わう茶話会も好評です。



●あたたかい日差しの中、四谷まち歩き

平成26年度「四谷まち歩き」スケジュール (平成26年9月～平成27年5月)

テーマ	日程
四谷三丁目界隈の美術館・博物館を巡る ～文化の香りを身近に感じる～	9月20日 終了
内藤新宿まち歩き ～宿場町の趣きを訪ねて～	11月15日 終了
信濃町駅界隈散策と神宮外苑いちようまつり ～小さい秋を見つけて～	12月6日 終了
南寺町を訪ねて ～四谷ゆかりの古の人にふれる～	3月7日 終了
外堀の桜鑑賞と四谷見附界隈を歩く ～春の外堀 桜の世界を体感～	4月4日 終了
甲州街道と歴史博物館を訪ねて ～四谷の今と昔のお話～	5月9日(土)

四谷の観光まちづくりを 一緒に考えませんか

地域の皆様と、まちづくりを「観光」の視点からとらえ、おとも子どもも「自らのまち、四谷地域を見直す」まち歩きと、四谷を訪れてくださる方が「地域の人による親しみを感じられる案内のある」まち歩きを実現しようと考えています。

地域の歴史に詳しい方、ガイドをしてみたい方、ぜひご参加ください！



●四谷まち歩き手帖

編集・発行 四谷地区協議会【事務局】(四谷特別出張所内)

〒160-8581 新宿区内藤町87番地
電話 03-3354-6171 FAX. 03-3350-9403
E-mail: yotsuya@city.shinjuku.lg.jp

次号は平成27年10月発行予定です。